

Ⅲ 経営方針

令和7年度(2025年度)学校経営計画

●経営の基本理念

「すべての子どもがいいきいと学ぶことができる学校」をめざして、

1. 子ども一人ひとりを基準として、知徳体の調和のとれた生徒の育成に取り組みます。
2. 温かみの中に規律のある学校を創造するとともに、将来に夢を持たせる教育を推進します。
3. すべての教職員の協働による教育活動を推進します。
4. 地域とともにあって信頼される学校をめざします。

◆めざす学校像

1. 子ども一人ひとりが個性を発揮でき、その良さを認め合い、意欲的で創造的に活動できる学校
2. 正しい子ども理解のもと、厳しさの中にも温かみのある積極的な指導をおこなう学校
3. 教職員相互の共通理解のもと、教職員が一丸となって主体的に取り組む学校
4. 効果的な情報発信により家庭と地域、関係諸機関との連携を積極的にすすめる学校

■学校教育目標(今年度の組織目標)「校訓:自他敬愛」

「自他を大切にし、自ら考え、自ら学び、予測困難な時代を生き抜く心豊かでたくましい子どもの育成」

□4つの視点

子どもたちの「学び」を 充実させる授業	子どもが安心して生活 できる環境づくり	共に支え、学ぶ、同僚 性の高い教職員集団	家庭・地域・関係機関と の連携強化
------------------------	------------------------	-------------------------	----------------------

□重点的な取組(具体的に何をするか)

○学び合い、課題解決するペア・グループでの学習を取り入れた授業 ○主体的に学ぶ授業 ○自分で考え、自分の考えを自分の言葉で表現する授業 ○非認知能力の育成による子どもが主役になる授業 ○「わかった」、「できた」と眩きが聴こえる授業 ○家庭学習の定着	○「個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支える」発達支持的生徒指導の働きかけ ○「聴く」、「受け止める」ことによる内面にせまる指導 ○支援教育・道徳教育・人権教育を基盤とした教育と生徒指導の協働 ○校内緑化や美化活動による校内環境整備	○学年ミーティングなどを基盤に学年教員、全教職員の高い同僚性の構築 ○共通理解、同一步調による相互支援 ○失敗を恐れず挑戦し、失敗を許容する文化の醸成 ○研究授業、相互参観授業による授業力の向上 ○報告、連絡、相談、記録、危機管理の徹底	○通信やホームページを活用した積極的な情報発信 ○学校教育自己診断や学校評議員制度を活用した学校運営 ○互いの基礎的知識をもち、相手の立場を理解しながら共に取り組む関係機関との連携 ○小中連携会議を中心に、小中連携した相互参観授業、合同研修会を通じた教職員の交流
---	--	--	--

□学校教育自己診断による確認

◎自分の考えを深めたり、広げたりすることができている(子) ◎家庭学習の習慣が身についている(子・保)	◎学校へ行くのが楽しい(子・保) ◎先生は自分たちの意見を大切にしてくれる(子・保)	◎業務に対する時間管理や業務改善を意識している(教) ◎業務の在り方、見通しについて話し合う機会がある(教)	◎家庭とつながり子ども理解を深めている(教) ◎通信やホームページ等を通じて教育活動を発信している(保)
--	---	---	---